



# 新型コロナウイルス感染症 第5波(7~9月)の振り返り

令和3年11月

山梨県感染症対策センター（山梨県 CDC）

## 目 次

1 感染状況等概況	1
2 属性別状況	4
3 対策の実施状況	8
4 事例及び対策の検証等	
① 年代別の孤発・集団事例検証	9
② 年代別行動履歴検証	15
③ 学生等(幼保、小中高、大学、専門学校生等)別の孤発・集団事例検証	18
④ 高齢者(65歳以上)の事例検証	22
⑤ クラスターの発生状況	24
⑥ 対策の効果検証	25
5 まとめ(県 CDC 藤井総長)	26

# 1 感染状況等概況

## (感染者数)

- ・ 感染者数<sup>※1</sup>については、アルファ株の影響によりそれまでの最多を記録した6月期のヤマが一段落した後、7月は、上旬が1日当たり一桁から10人程度の低水準で推移したものの、中旬以降から置き換わりが進行したデルタ株の影響により、下旬に再び増加傾向を示した(7月313人)。8月に入ると、40人規模から急拡大し、8月7日の79人の後、一旦減少するものの、再び70~90人規模で急拡大し、8月20日に1日当たり過去最多の103人を記録。その後、103人をピークに減少に転じたものの40~80人規模で推移した(8月2,078人)。9月は、上旬が30~40人規模、中旬から下旬にかけて10~20人規模と、徐々に感染者数が減少し、最終的に一桁台と低水準となったが、8月に次ぐ感染者数となった(9月622人)。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は、感染の波が来るたびにその規模を大きくしており、第5波は、極めて感染力が強いデルタ株による感染拡大により、これまでの第1波から第4波までと比較し、かつてない規模となった。特に、8月期は過去最多となったが、これまで最多だった令和3年6月期(551人)の約4倍、8月末までの累計数(4,492人)の半数余りを占めるなど、これまでを大きく上回る規模の感染者数となった。

## (医療提供体制)

- ・ 病床等使用率<sup>※2</sup>は、7月前半は10%前後で推移したものの、感染者数の増加に伴い上昇し、7月28日には20%を超過(21.1%) (7月末29.3%)。8月に入っても上昇傾向は続き、8月6日に50%を超え(55.1%)、以降60%以上の高水準で推移、8月22日に最大値86.4%(病床等計817床・室に対し、706人(入院者数248人、宿泊療養者数458人))を記録後、医療提供体制の強化及び感染者数の減少に伴い、低下傾向となった(8月末61.3%)。9月は終始低下傾向で推移した(9月末9.3%)。

## (実効再生産数)

- ・ 実効再生産数<sup>※3</sup>は、6月下旬(第4波)の感染収束局面後、7月6日から20日までは1.0前後で推移していたが、7月21日に1.00を超過して以降(1.04)は、1.00を大きく上回る数値となり感染急拡大の様相を見せ始め、7月25日に3.38となるなど24日から29日までは2.0超で推移。その後も感染拡大局面は続き、7月30日から8月7日までは1.8~1.9台、8月8日から26日までは2日間(8月12日及び13日は0.97)を除き1.0以上で推移。8月27日以降は、1.00を下回る数値で逡減していき、

---

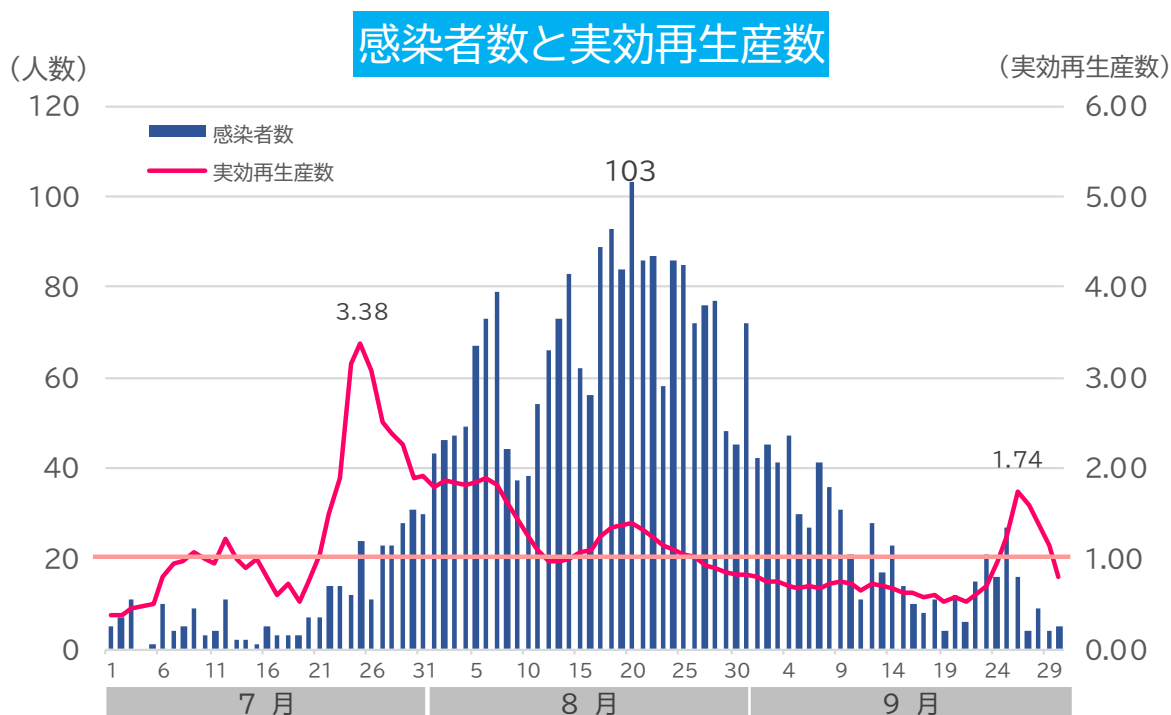
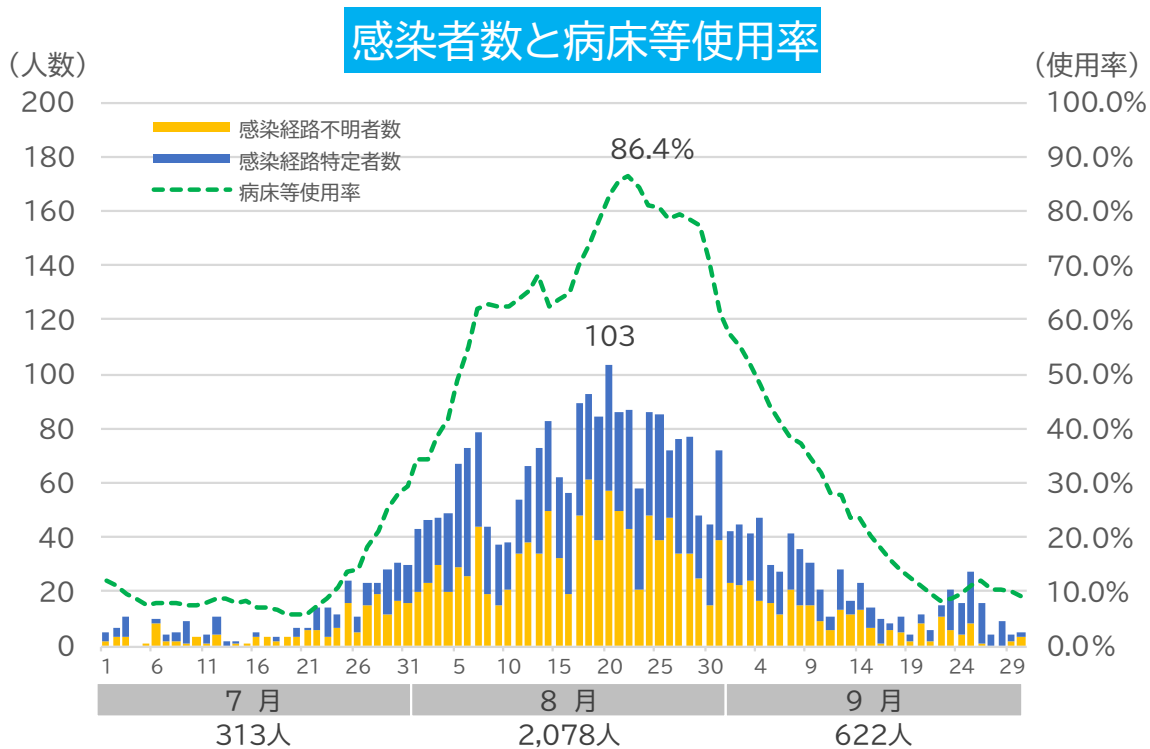
※1 感染者数：公表日ベースの数字。総数(5,114人)は、令和3年9月30日現在のもの。

※2 病床等使用率：重症病床を除く病床及び宿泊療養施設を合算した使用率で、医療提供体制の状況を示す本県独自の指標(医療機器メーターとして8月10日分以降を公表)。

※3 実効再生産数：1人の感染者による二次感染者数を示す疫学指標。現在流行が拡大期にあるのか収束に向かっているかの評価に用いられ、1より大きい場合に増加傾向、1より小さい場合に減少傾向を表す。  
【計算方法(国立感染症研究所による簡易Rt推計法)】：新規陽性者数の直近7日間移動平均/(世代時間)日前の7日間移動平均。国立感染研では世代時間を5日に固定。

9月下旬に一時的に1.0超となる（施設のクラスターによる感染者増が原因）ものの9月30日は0.8となり感染収束局面が続いた。

- ・ 第5波（7～9月）としては、1.0を超過した7月21日から8月26日（1.01）までの37日間は感染拡大局面、1.00を下回る8月27日以降は感染収束局面であったと言える。



●新規感染者数、病床等使用率、実効再生産数

公表日	新規感染者数	病床等使用率	実効再生産数	公表日	新規感染者数	病床等使用率	実効再生産数	公表日	新規感染者数	病床等使用率	実効再生産数
7月1日	5人	12.1%	0.38	8月1日	43人	34.5%	1.80	9月1日	42人	57.6%	0.79
7月2日	7人	11.0%	0.38	8月2日	46人	34.4%	1.85	9月2日	45人	54.9%	0.75
7月3日	11人	9.4%	0.44	8月3日	47人	38.5%	1.84	9月3日	41人	52.2%	0.74
7月4日	0人	8.7%	0.47	8月4日	49人	41.9%	1.80	9月4日	47人	48.1%	0.70
7月5日	1人	7.4%	0.49	8月5日	67人	48.8%	1.84	9月5日	30人	44.4%	0.68
7月6日	10人	7.9%	0.81	8月6日	73人	55.1%	1.88	9月6日	27人	41.1%	0.70
7月7日	4人	8.0%	0.95	8月7日	79人	62.1%	1.80	9月7日	41人	38.6%	0.67
7月8日	5人	8.0%	0.97	8月8日	44人	62.9%	1.63	9月8日	36人	37.1%	0.72
7月9日	9人	7.4%	1.08	8月9日	37人	62.3%	1.45	9月9日	31人	34.7%	0.74
7月10日	3人	7.4%	1.00	8月10日	38人	62.5%	1.24	9月10日	21人	32.0%	0.72
7月11日	4人	7.7%	0.95	8月11日	54人	63.7%	1.10	9月11日	11人	28.3%	0.65
7月12日	11人	8.8%	1.21	8月12日	66人	65.2%	0.97	9月12日	28人	27.6%	0.71
7月13日	2人	8.7%	1.00	8月13日	73人	68.1%	0.97	9月13日	17人	23.7%	0.69
7月14日	2人	8.0%	0.90	8月14日	83人	62.5%	1.00	9月14日	23人	23.6%	0.66
7月15日	1人	8.5%	1.00	8月15日	62人	63.8%	1.07	9月15日	14人	20.4%	0.62
7月16日	5人	7.1%	0.78	8月16日	56人	65.0%	1.10	9月16日	10人	18.3%	0.63
7月17日	3人	6.9%	0.61	8月17日	89人	69.8%	1.24	9月17日	8人	15.7%	0.57
7月18日	3人	6.8%	0.71	8月18日	93人	74.1%	1.34	9月18日	11人	14.1%	0.60
7月19日	3人	6.0%	0.53	8月19日	84人	78.0%	1.37	9月19日	4人	12.5%	0.52
7月20日	7人	5.8%	0.75	8月20日	103人	83.0%	1.38	9月20日	12人	11.2%	0.57
7月21日	7人	5.7%	1.04	8月21日	86人	85.4%	1.33	9月21日	6人	9.6%	0.52
7月22日	14人	7.4%	1.50	8月22日	87人	86.4%	1.24	9月22日	15人	8.2%	0.59
7月23日	14人	8.7%	1.89	8月23日	58人	84.3%	1.15	9月23日	21人	8.9%	0.69
7月24日	12人	10.7%	3.16	8月24日	86人	81.1%	1.11	9月24日	16人	9.4%	0.98
7月25日	24人	13.5%	3.38	8月25日	85人	80.7%	1.03	9月25日	27人	11.1%	1.23
7月26日	11人	14.2%	3.07	8月26日	72人	78.6%	1.01	9月26日	16人	11.9%	1.74
7月27日	23人	18.3%	2.50	8月27日	76人	79.5%	0.92	9月27日	4人	10.4%	1.59
7月28日	23人	21.1%	2.37	8月28日	77人	78.7%	0.90	9月28日	9人	10.3%	1.40
7月29日	28人	25.2%	2.25	8月29日	48人	77.5%	0.84	9月29日	4人	9.9%	1.14
7月30日	31人	28.2%	1.88	8月30日	45人	71.0%	0.83	9月30日	5人	9.3%	0.80
7月31日	30人	29.3%	1.91	8月31日	72人	61.3%	0.82				

## 2 属性別状況 ※感染者数の総数は R3.9.30 現在

### ● 月別感染者数、うち感染経路※4 不明者数、うちワクチン接種者数

- ・ 7～9月の感染者数 3,013 人のうち、感染経路不明者数は 1,499 人 (49.8%)、ワクチン2回接種者数は 220 人 (7.3%)。

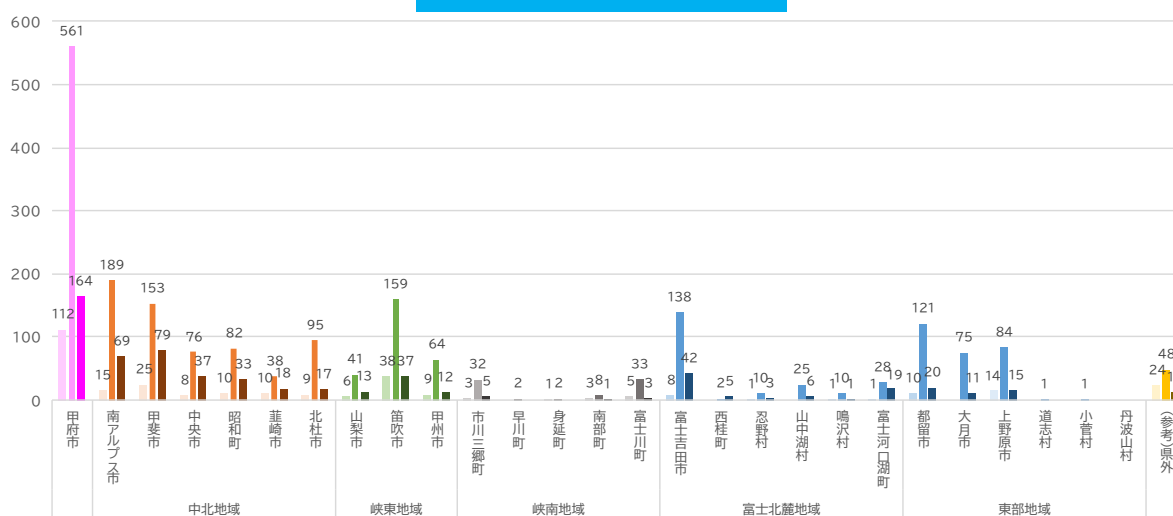
### ● 月別(延べ総数、7～9月)

	7月	8月	9月	7-9月計	総数
感染者数	313	2,078	622	3,013	5,114
うち感染経路不明者数	167	1,048	284	1,499	2,350
不明割合	53.4%	50.4%	45.7%	49.8%	46.0%
うちワクチン2回接種者数	11	147	62	220	-
2回接種者割合	3.5%	7.1%	10.0%	7.3%	-

### ● 地域別(市町村別)感染者数

- ・ 市町村別では、甲府市が 837 人(27.8%)で最多、南アルプス市 273 人 (9.1%)、甲斐市 257 人 (8.5%)、笛吹市 234 人 (7.8%) の順であった。人口1万人当たり感染者数 (7～9月) では、昭和町が 60.5 人で最多、山中湖村 60.1 人、上野原市 49.2 人、都留市 49.2 人の順であった。
- ・ 地域別に人口1万人当たり感染者数でみると、甲府市 44.4 人、東部地域 44.3 人、中北地域 35.7 人、富士北麓地域 31.9 人、峡東地域 28.9 人、峡南地域 20.4 人の順であった。

感染者の状況(居住地別)



※4 感染経路：ここでは誰から感染したかを示しており、濃厚接触者など明らかに感染経路が特定できる場合のみ感染経路特定とする。感染経路特定以外の場合、すべて感染経路不明とする。

● 地域別(市町村別)感染者数

地域	市町村名	7月	8月	9月	7-9月計	割合	人口1万人 当たり (7-9月)	総数計	割合
甲府市	甲府市	112	561	164	837	27.8%	44.4	1,399	27.4%
中北地域	南アルプス市	15	189	69	273	9.1%		437	8.5%
	甲斐市	25	153	79	257	8.5%		565	11.0%
	中央市	8	76	37	121	4.0%		179	3.5%
	昭和町	10	82	33	125	4.1%		177	3.5%
	韮崎市	10	38	18	66	2.2%		169	3.3%
	北杜市	9	95	17	121	4.0%		184	3.6%
	中北地域計	77	633	253	963	32.0%	35.7	1,711	33.5%
峡東地域	山梨市	6	41	13	60	2.0%		99	1.9%
	笛吹市	38	159	37	234	7.8%		383	7.5%
	甲州市	9	64	12	85	2.8%		128	2.5%
	峡東地域計	53	264	62	379	12.6%	28.9	610	11.9%
峡南地域	市川三郷町	3	32	5	40	1.3%		63	1.2%
	早川町	0	2	0	2	0.1%		4	0.1%
	身延町	1	2	0	3	0.1%		9	0.2%
	南部町	3	8	1	12	0.4%		13	0.3%
	富士川町	5	33	3	41	1.4%		56	1.1%
	峡南地域計	12	77	9	98	3.3%	20.4	145	2.8%
富士北麓地域	富士吉田市	8	138	42	188	6.2%		342	6.7%
	西桂町	0	2	5	7	0.2%		19	0.4%
	忍野村	1	10	3	14	0.5%		48	0.9%
	山中湖村	0	25	6	31	1.0%		44	0.9%
	鳴沢村	1	10	1	12	0.4%		23	0.4%
	富士河口湖町	1	28	19	48	1.6%		120	2.3%
	富士北麓地域計	11	213	76	300	10.0%	31.9	596	11.7%
東部地域	都留市	10	121	20	151	5.0%		211	4.1%
	大月市	0	75	11	86	2.9%		126	2.5%
	上野原市	14	84	15	113	3.8%		198	3.9%
	道志村	0	1	0	1	0.0%		1	0.0%
	小菅村	0	1	0	1	0.0%		1	0.0%
	丹波山村	0	0	0	0	0.0%		3	0.1%
	東部地域計	24	282	46	352	11.7%	44.3	540	10.6%
山梨県外		24	48	12	84	2.8%	-	113	2.2%
総計		313	2,078	622	3,013	100.0%	36.1	5,114	100.0%

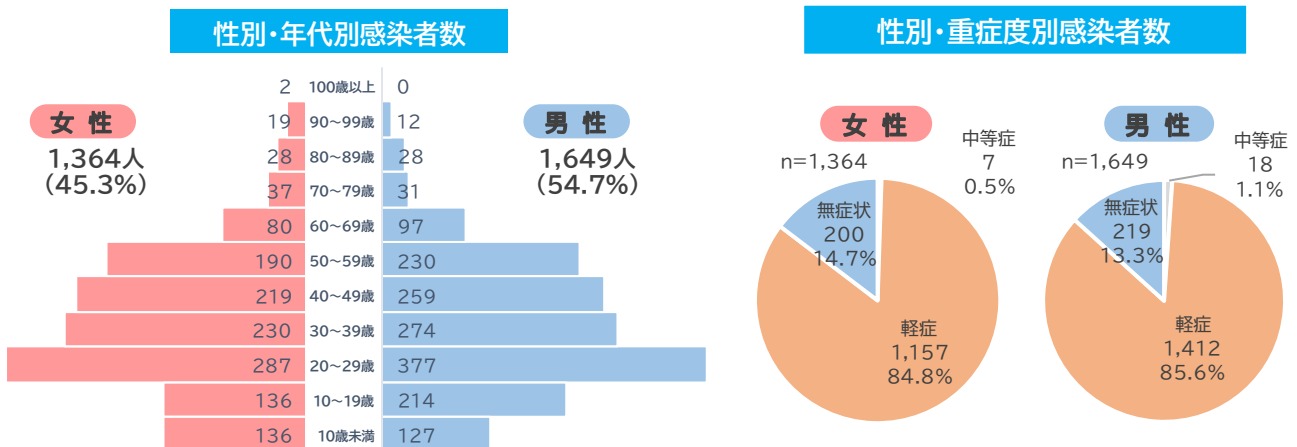
● 年代別・性別・重症度別(公表時)(延べ総数、7～9月)

- ・ 性別では、男性が1,649人(54.7%)、女性が1,364人(45.3%)で、年代別では、男女いずれも20代、30代、40代、50代の順で多かった。
- ・ 重症度別では、男性は、中等症18人(1.1%)、軽症1,412人(85.6%)、無症状219人(13.3%)、女性は、中等症7人(0.5%)、軽症1,156人(84.8%)、無症状201人(14.7%)であった(症状はいずれも公表時点のもの)。

年代別割合を見ると、10代までは無症状が多く、特に10歳未満は無症状が約1/3を占めた(10歳未満34.1%、10代17.1%)。また、中等症は若年層に比べ中高年層に多く見られた。

ワクチン接種の状況別に見ると、対象となる感染者数は少ないものの、ワクチン2回接種者では中等症は見られなかった。

- ・ 月別に年代別を見ると、いずれの月も30代までの感染者が全体の半数を超えていた。
- ・ 年代別の割合を第4波までと比較すると、第5波は、高齢者層の減少と10歳未満の増加が顕著であり、20代から40代までは微増であった。



● 性別・重症度別感染者数

性別	症状	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計
男性	中等症			1	1	4	3	5	2	1	1		18
	軽症	85	179	345	252	224	201	78	22	19	7		1,412
	無症状	42	35	31	21	31	26	14	7	8	4		219
男性 集計		127	214	377	274	259	230	97	31	28	12		1,649
割合		7.7%	13.0%	22.9%	16.6%	15.7%	13.9%	5.9%	1.9%	1.7%	0.7%	0.0%	100.0%
女性	中等症			1	1	2	1	1		1			7
	軽症	89	111	259	208	196	172	69	25	15	12	1	1,157
	無症状	48	25	27	21	21	17	10	12	11	7	1	200
女性 集計		137	136	287	230	219	190	80	37	27	19	2	1,364
割合		10.0%	10.0%	21.0%	16.9%	16.1%	13.9%	5.9%	2.7%	2.0%	1.4%	0.1%	100.0%
総計		264	350	664	504	478	420	177	68	55	31	2	3,013
割合		8.8%	11.6%	22.0%	16.7%	15.9%	13.9%	5.9%	2.3%	1.8%	1.0%	0.1%	100.0%

● 年代別・症状別感染者数

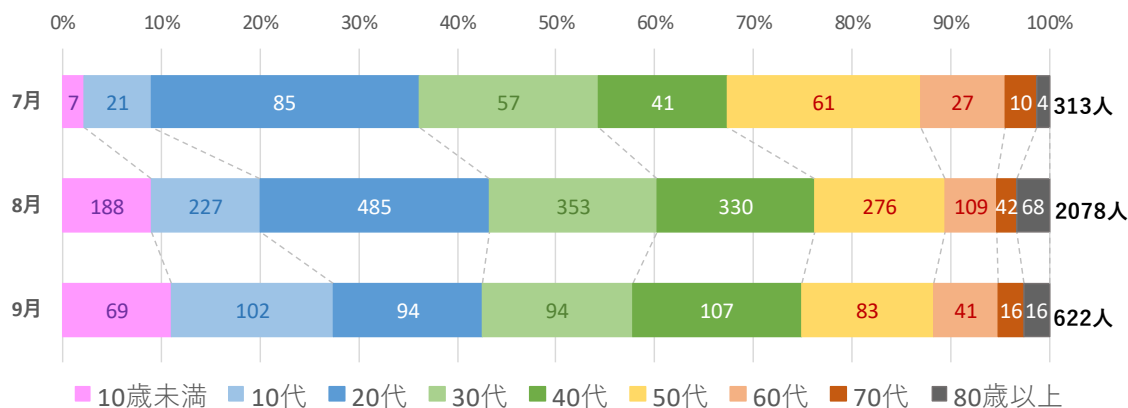
症状	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計
中等症	0	0	2	2	6	4	6	2	2	1	0	25
軽症	174	290	604	460	420	373	147	47	34	19	1	2,569
無症状	90	60	58	42	52	43	24	19	19	11	1	419
総計	264	350	664	504	478	420	177	68	55	31	2	3,013
割合	8.8%	11.6%	22.0%	16.7%	15.9%	13.9%	5.9%	2.3%	1.8%	1.0%	0.1%	100.0%
中等症	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	1.3%	1.0%	3.4%	2.9%	3.6%	3.2%	0.0%	0.8%
軽症	65.9%	82.9%	91.0%	91.3%	87.9%	88.8%	83.1%	69.1%	61.8%	61.3%	50.0%	85.3%
無症状	34.1%	17.1%	8.7%	8.3%	10.9%	10.2%	13.6%	27.9%	34.5%	35.5%	50.0%	13.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



● 重症度別・ワクチン接種群別感染者数

ワクチン接種	中等症	軽症	無症状	総計
2回接種		145	75	220
1回接種	5	290	29	324
未接種	20	2,134	315	2,469
合計	25	2,569	419	3,013

月別・年代別感染者数



● 月別・年代別感染者数

月	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計
7	7	21	85	57	41	61	27	10	4			313
8	188	227	485	353	330	276	109	42	40	26	2	2,078
9	69	102	94	94	107	83	41	16	11	5		622
7-9計	264	350	664	504	478	420	177	68	55	31	2	3,013
割合	8.8%	11.6%	22.0%	16.7%	15.9%	13.9%	5.9%	2.3%	1.8%	1.0%	0.1%	100.0%
総計	320	627	1,105	802	735	725	371	220	141	62	6	5,114
割合	6.3%	12.3%	21.6%	15.7%	14.4%	14.2%	7.3%	4.3%	2.8%	1.2%	0.1%	100.0%

● 年代別・感染経路の判明・不明別感染者数

- ・ 感染経路別では、判明が1,514人(50.2%)、不明が1,499人(49.8%)。不明の年代別では、20代424人(63.9%)が最も高く、30代297人(58.9%)、40代261人(54.6%)と続き、10歳未満・80歳以上は不明割合が比較的低い。
- ・ 第5波においては、感染経路不明の割合が増加しており、80歳以上を除き、70代までの各年代でその割合が増加している。

● 年代別・感染経路の判明・不明別感染者数

感染経路	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計	割合
判明	237	226	240	207	217	188	89	42	41	25	2	1,514	50.2%
不明	27	124	424	297	261	232	88	26	14	6		1,499	49.8%
7-9計	264	350	664	504	478	420	177	68	55	31	2	3,013	100.0%
不明割合	10.2%	35.4%	63.9%	58.9%	54.6%	55.2%	49.7%	38.2%	25.5%	19.4%	0.0%	49.8%	
判明	289	451	461	360	355	370	194	137	93	47	6	2,763	54.0%
不明	31	176	644	442	380	355	177	83	48	15		2,351	46.0%
総計	320	627	1,105	802	735	725	371	220	141	62	6	5,114	100.0%
不明割合	9.7%	28.1%	58.3%	55.1%	51.7%	49.0%	47.7%	37.7%	34.0%	24.2%	0.0%	46.0%	

### 3 対策の実施状況

#### (協力要請等の実施)

- ・ 8月の感染急拡大を受け、臨時特別協力要請を行うとともに、新型インフルエンザ等特別措置法に基づくまん延防止等重点措置の対象区域に追加されたことを受け、飲食店等への休業要請及び大規模集客施設等への休業または入場制限要請を実施し、人流抑制による感染拡大防止を図った。

<実施内容>

8月6日	臨時特別協力要請：不要不急の外出・移動自粛、イベント等開催制限、県外からの観光・レジャー目的の来県自粛要請等（～8/22）
8月14日	臨時特別協力要請改訂：飲食店等への休業要請、大規模集客施設等への休業または入場制限要請
8月18日	協力要請及びまん延防止等重点措置：不要不急の外出・移動自粛、イベント等開催制限、県外観光客の来県自粛要請等に加え、改めて飲食店等へ休業要請、大規模集客施設等へ営業時間短縮要請（8/20～9/12）
8月24日	協力要請改訂：学校向けの分割授業の実施やオンライン授業の活用、必要最小限での部活動・クラブ活動の実施、学校行事の可能な限りの延期を要請

#### (医療提供体制の増強)

- ・ 8月の感染者の急増に伴う療養者の増加を踏まえ、病床の増床・宿泊療養施設の増設など医療提供体制の増強・強化を図った。
- ・ 一定の医療行為が可能な「医療強化型の宿泊療養施設」を稼働させるとともに、医師の判断に基づく安心安全な療養体制のもと自宅で療養する退所後ケアの運用を開始。

<実施内容>

病床	305床を62床増床し、合計367床を確保（8/24～） ※10月18日に9床増床し、現在は合計376床
宿泊療養施設	既存3施設（計536室）に新規施設2か所を開設 ・4か所目（8/31開設：中央市137室） ・5か所目（9/22開設：甲府市133室） → 合計806室 ※10月1日に6か所目（甲府市：160室）を開設し、現在は合計966室
医療強化型 宿泊療養施設	宿泊療養施設のうち、2施設を、医師・看護師が常駐し、点滴や酸素吸入などの治療や処方薬の投与を行う「医療強化型の宿泊療養施設」として稼働。
退所後ケア	病院に入院または宿泊療養施設に入所している者のうち、無症状で、一定の基準を満たし、かつ、医師が可能と判断した者については、看護師による毎日の健康観察、24時間体制のオンコール相談など、安心安全な療養体制のもと、自宅で療養する退所後ケアの運用を開始。

## 4 事例及び対策の検証等

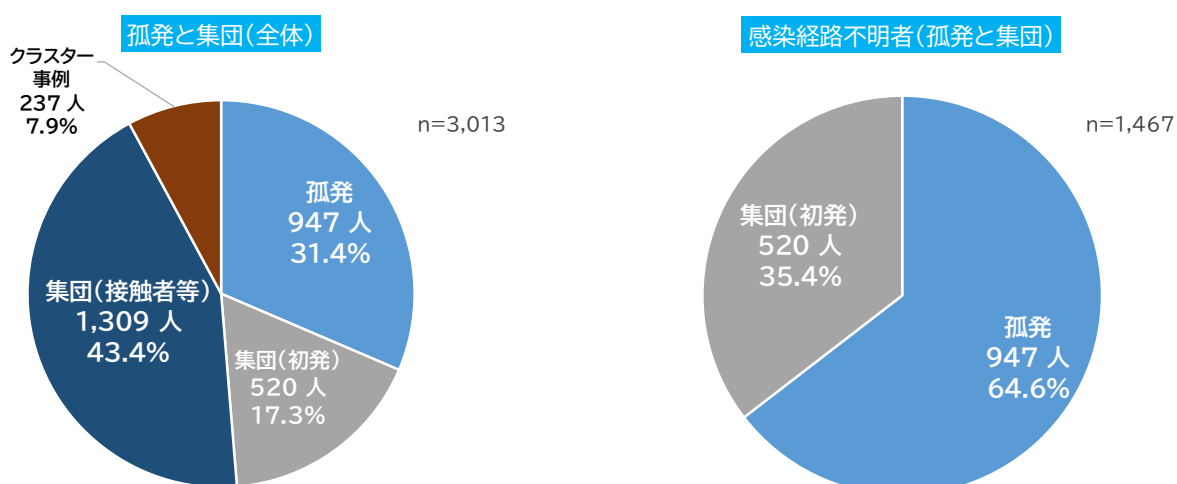
### ① 年代別の孤発・集団事例検証

#### (全体)

- ・ 7～9月の感染者数 3,013 人のうち、孤発例<sup>※5</sup>は 947 人 (31.4%)、集団事例<sup>※6</sup>は 1,829 人 (うち初発 520 人、接触者等 1,309 人) (60.7%)、クラスター事例<sup>※7</sup>は 237 人 (7.9%)。
- ・ 感染経路不明者<sup>※8</sup> (クラスター事例を除く。)は 1,467 人 (52.8%)。そのうち孤発例は 947 人 (64.6%)、集団事例の初発となったものが 520 人 (35.4%)であった。
- ・ 初発事例を除く集団事例(1,309人)の感染経路を見ると、家族・親族 889 人(67.9%)、知人 280 人 (21.4%)、同僚 122 人 (9.3%)、施設利用者 18 人 (1.4%)であった。
- ・ 感染経路は家族・親族が最も多く約 3 分の 2 を占めた。また、集団事例の件数は 520 件で、1 件当たりの集団規模は約 3.5 人であるため、1 人の感染者から 2.5 人が感染したことになる。
- ・ 全体として、10 歳未満・10 代・70 代・80 歳以上は、孤発・集団の初発となる割合は低く、主な感染経路は家庭で家族・親族 (親・子等) からの感染であった。

20 代は、感染事例数とともに感染経路不明の割合が全世代で最も高く、感染経路は家族・親族、知人、同僚が比較的均衡しており多様。もともと広範な行動範囲、多様な交流等がある年代であり、その広範・多様な行動により感染する場合も多く、また、他の人に感染させている場合も多いと考えられる。

30 代～60 代も 20 代と同様の傾向があるが、年代が上がるにつれ感染事例数が少なくなり、感染経路不明の割合及び集団の初発となる割合が低くなり、感染経路が家族・親族の割合が高くなる。



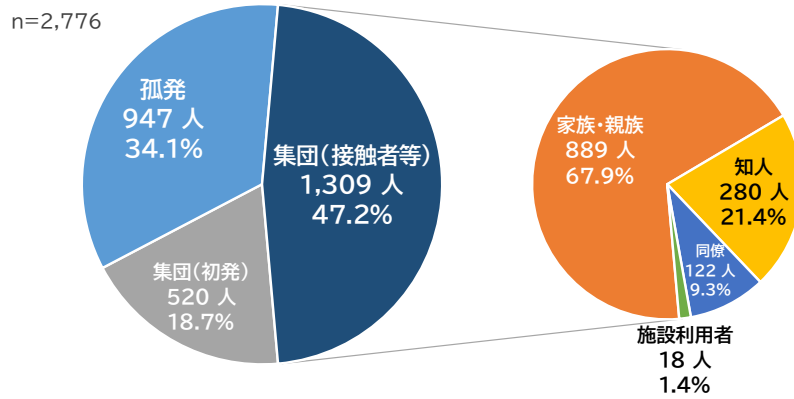
※5 孤発例：1 人のみが単発で感染した事例 (感染経路不明、かつ感染拡大しなかった事例)。

※6 集団事例：2 人以上に感染拡大した事例。うち最初に確認された感染者を「集団事例の初発」と言う。

※7 クラスター事例：5 人以上の集団発生事例として県が公表したもの。

※8 感染経路不明者：感染経路特定者 (濃厚接触者など明らかに感染経路が特定できる者) 以外の者。孤発例と集団事例の初発が該当。

孤発と集団(集団内訳)



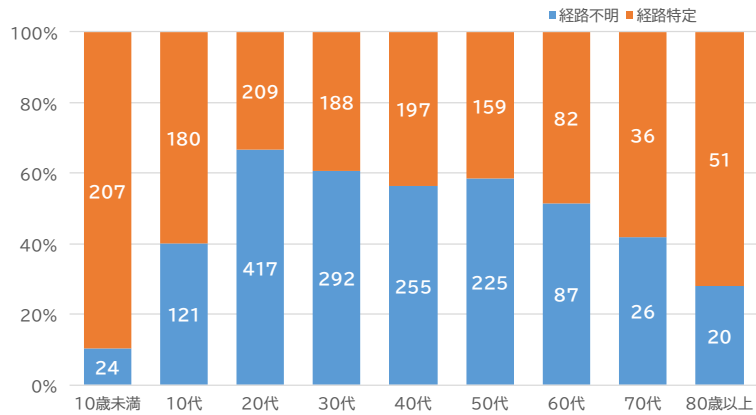
●孤発・集団(全体)

孤発	通常事例 集団			通常事例計	クラスター事例	総計
	初発	接触者等	集団計			
947	520	1,309	1,829	2,776	237	3,013
31.4%	17.3%	43.4%	60.7%		7.9%	100.0%

●孤発・集団(全体・関係性別)

孤発	感染経路不明		感染経路判明				判明計	合計
	集団初発	不明計	集団(接触者等)					
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者		
947	520	1,467	889	280	122	18	1,309	2,776
(64.6%)	(35.4%)	(100.0%)	(67.9%)	(21.4%)	(9.3%)	(1.4%)	(100.0%)	

年代別感染経路判明・不明割合



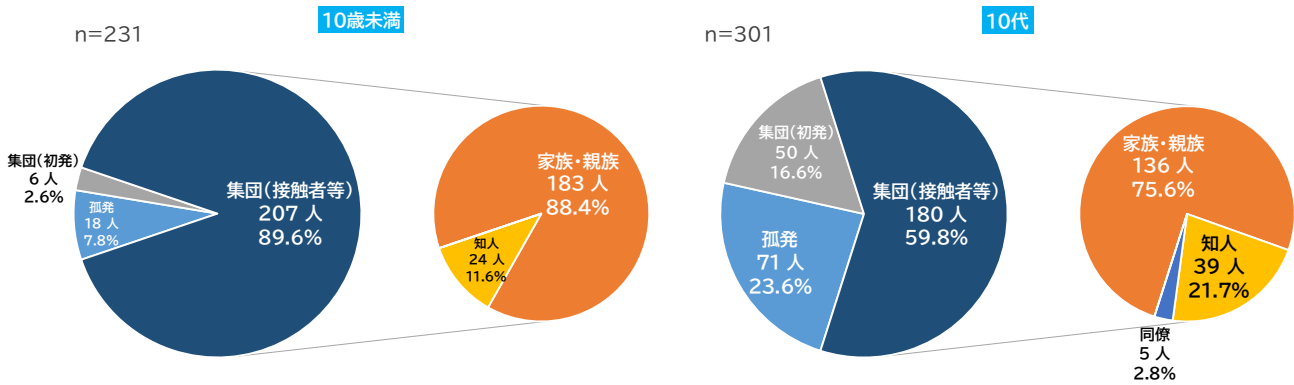
※以下の年代別の感染者はクラスター事例を除く。

### (10 歳未満)

- ・ 感染者 231 人のうち、感染経路不明者は 24 人 (10.4%)。そのうち孤発例は 18 人 (75.0%)、集団事例の初発となった者が 6 人 (25.0%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、家族・親族 183 人 (88.4%) が多数で、知人が 24 人 (11.6%) であった。
- ・ 10 歳未満の大多数の感染経路は家庭で、家族・親族 (親等) からの感染である。

### (10 代)

- ・ 感染者 301 人のうち、感染経路不明者は 121 人 (40.2%)。そのうち孤発例は 71 人 (58.7%)、集団事例の初発となった者が 50 人 (41.3%) であった。初発事例を除く集団事例 (180 人) の感染経路を見ると、家族・親族 136 人 (75.6%) が多数、次いで知人 39 人 (21.7%)、同僚 5 人 (2.8%) であった。
- ・ 10 歳未満と比較し感染経路不明割合が増えるものの、感染経路の多くは家庭で家族・親族 (親等) からの感染である。



#### ●孤発・集団(年代別)

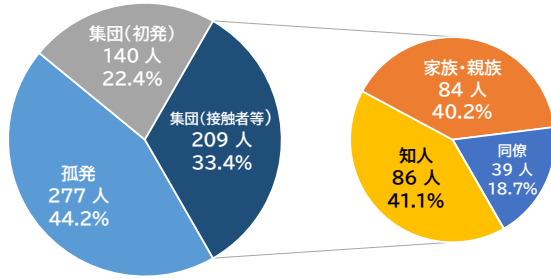
10歳未満									10代										
感染経路不明			感染経路判明						合計	感染経路不明			感染経路判明						合計
孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)				判明計	孤発		集団初発	不明計	集団(接触者等)				判明計			
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者					家族・親族	知人	同僚	施設利用者					
18	6	24	183	24			207	231	71	50	121	136	39	5		180	301		
10.4%			89.6%						100.0%	40.2%			59.8%						100.0%
(75.0%)	(25.0%)	(100.0%)	(88.4%)	(11.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)		(58.7%)	(41.3%)	(100.0%)	(75.6%)	(21.7%)	(2.8%)	(0.0%)	(100.0%)			

### (20 代)

- ・ 感染者 626 人のうち、感染経路不明者は 417 人 (66.6%)。そのうち孤発例 277 人 (66.4%)、集団事例の初発となった者が 140 人 (33.6%) であった。初発事例を除く集団事例 (209 人) の感染経路を見ると、知人 86 人 (41.1%)、家族・親族 84 人 (40.2%)、同僚 39 人 (18.7%) であった。
- ・ 20 代は、感染事例数とともに感染経路不明の割合が全世代で最も高く、また、感染経路は家族・親族、知人、同僚がそれぞれ一定程度の割合を占めており多様。もともと広範な行動範囲、多様な交流等がある年代であり、その広範・多様な行動により感染する場合も多く、また、他の人に感染させている場合も多いと考えられる。

n=626

20代



●孤発・集団(年代別)

20代								
感染経路不明			感染経路判明				判明 計	合計
孤発 初発	集団 初発	不明 計	集団(接触者等)					
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者		
277	140	417	84	86	39		209	626
66.6%			33.4%				100.0%	
(66.4%)	(33.6%)	(100.0%)	(40.2%)	(41.1%)	(18.7%)	(0.0%)	(100.0%)	

(30代)

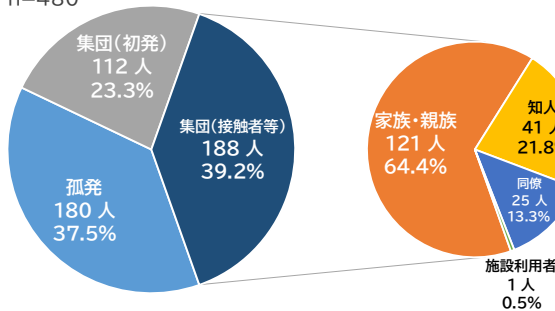
- 感染者 480 人のうち、感染経路不明者は 292 人 (60.8%)。そのうち孤発例 180 人 (61.6%)、集団事例の初発となった者が 112 人 (38.4%) であった。初発事例を除く集団事例 (188 人) の感染経路を見ると、家族・親族 121 人 (64.4%)、知人 41 人 (21.8%)、同僚 25 人 (13.3%)、施設利用者 1 人 (0.5%) であった。
- 30代は、感染事例数とともに感染経路不明の割合が 20代に次いで高い。感染経路は家族・親族が多数であるが、知人、同僚も一定程度の割合がある。20代と同様、もともと広範な行動範囲、多様な交流等がある年代であり、その広範・多様な行動により感染する場合も多く、また、他の人に感染させている場合も多いと考えられる。

(40代)

- 感染者 452 人のうち、感染経路不明者は 255 人 (56.4%)。そのうち孤発例 169 人 (66.3%)、集団事例の初発となった者が 86 人 (33.7%) であった。初発事例を除く集団事例 (197 人) の感染経路を見ると、家族・親族 129 人 (65.5%)、知人 40 人 (20.3%)、同僚 28 人 (14.2%) であった。
- 各分類が占める割合は 30代とほぼ同じ傾向。

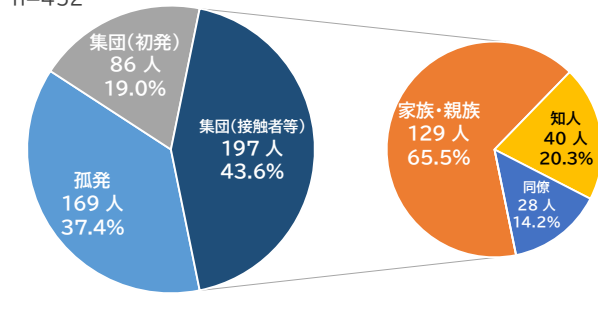
30代

n=480



40代

n=452



●孤発・集団(年代別)

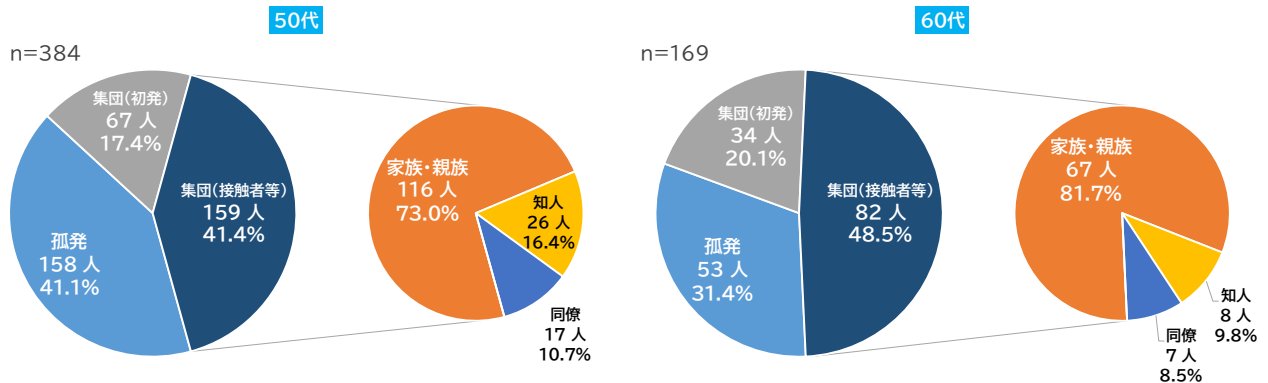
30代								40代									
感染経路不明			感染経路判明					合計	感染経路不明			感染経路判明				合計	
孤発 初発	集団 初発	不明 計	集団(接触者等)				判明 計		孤発 初発	集団 初発	不明 計	集団(接触者等)					
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者		家族・親族				知人	同僚	施設利用者			
180	112	292	121	41	25	1	188	480	169	86	255	129	40	28		197	452
60.8%			39.2%					100.0%	56.4%			43.6%				100.0%	
(61.6%)	(38.4%)	(100.0%)	(64.4%)	(21.8%)	(13.3%)	(0.5%)	(100.0%)		(66.3%)	(33.7%)	(100.0%)	(65.5%)	(20.3%)	(14.2%)	(0.0%)	(100.0%)	

## (50代)

- ・ 感染者 384 人のうち、感染経路不明者は 225 人 (58.6%)。そのうち孤発例 158 人 (70.2%)、集団事例の初発となった者が 67 人 (29.8%) であった。初発事例を除く集団事例 (159 人) の感染経路を見ると、家族・親族 116 人 (73.0%)、知人 26 人 (16.4%)、同僚 17 人 (10.7%) であった。
- ・ 各分類が占める割合は 30 代・40 代と同傾向であるが、感染経路は家族・親族の割合が高い。

## (60代)

- ・ 感染者 169 人のうち、感染経路不明者は 87 人 (51.5%)。そのうち孤発例 53 人 (60.9%)、集団事例の初発となった者が 34 人 (39.1%) であった。初発事例を除く集団事例 (82 人) の感染経路を見ると、家族・親族 67 人 (81.7%)、知人 8 人 (9.8%)、同僚 7 人 (8.5%) であった。
- ・ 各分類が占める割合は 50 代とほぼ同じ傾向。



●孤発・集団(年代別)

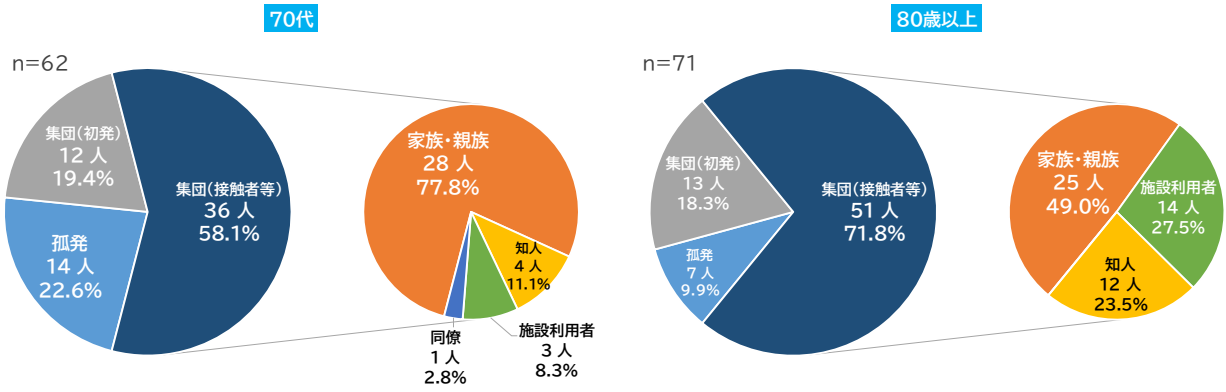
		50代						60代							
感染経路不明		感染経路判明						感染経路不明		感染経路判明				合計	
孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)				判明計	孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)				判明計
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者					家族・親族	知人	同僚	施設利用者	
158	67	225	116	26	17	159	384	53	34	87	67	8	7	82	169
(70.2%)	(29.8%)	(100.0%)	(73.0%)	(16.4%)	(10.7%)	(41.4%)	100.0%	(60.9%)	(39.1%)	(100.0%)	(81.7%)	(9.8%)	(8.5%)	(48.5%)	100.0%
		58.6%								51.5%					

## (70代)

- ・ 感染者 62 人のうち、感染経路不明者は 26 人 (41.9%)。そのうち孤発例 14 人 (53.8%)、集団事例の初発となった者が 12 人 (46.2%) であった。初発事例を除く集団事例 (36 人) の感染経路を見ると、家族・親族 28 人 (77.8%)、知人 4 人 (11.1%)、施設利用者 3 人 (8.3%)、同僚 1 人 (2.8%) であった。
- ・ 70 代は、感染事例数、感染経路不明の割合ともに比較的低く、感染経路の多くは家庭で家族・親族 (子等) からの感染である。

## (80歳以上)

- ・ 感染者 71 人のうち、感染経路不明者は 20 人 (28.2%)。そのうち孤発例 7 人 (35.0%)、集団事例の初発となった者が 13 人 (65.0%) であった。初発事例を除く集団事例 (51 人) の感染経路を見ると、家族・親族 25 人 (49.0%)、施設利用者 14 人 (27.5%)、知人 12 人 (23.5%) であった。
- ・ 80 歳以上は、感染事例数、感染経路不明の割合ともに低く、感染経路は家庭で家族・親族 (子等) からが主であるが、施設での感染も比較的多い。



●孤発・集団(年代別)

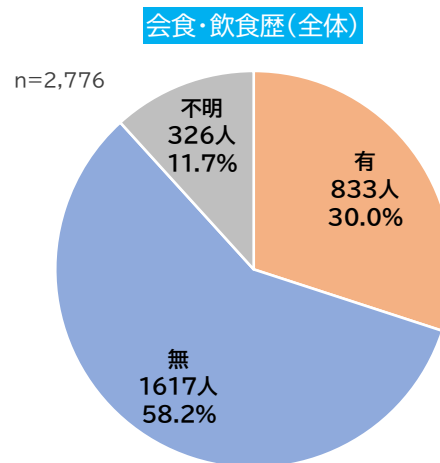
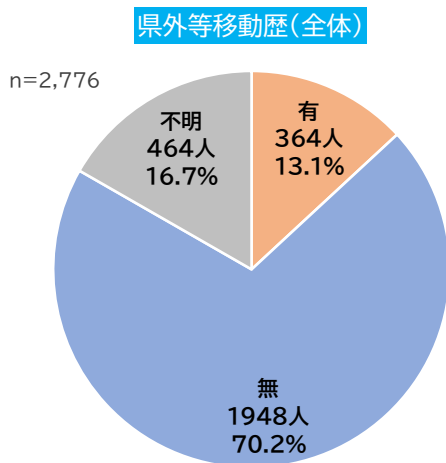
70代									80歳以上										
感染経路不明			感染経路判明						合計	感染経路不明			感染経路判明						合計
孤発	集団 初発	不明 計	集団(接触者等)				判明 計	孤発		集団 初発	不明 計	集団(接触者等)				判明 計			
			家族・親族	知人	同僚	施設利用者			家族・親族			知人	同僚	施設利用者					
14	12	26	28	4	1	3	36	62	7	13	20	25	12		14	51	71		
41.9%			58.1%						100.0%	28.2%			71.8%						100.0%
(53.8%)	(46.2%)	(100.0%)	(77.8%)	(11.1%)	(2.8%)	(8.3%)	(100.0%)		(35.0%)	(65.0%)	(100.0%)	(49.0%)	(23.5%)	(0.0%)	(27.5%)	(100.0%)			



## ② 年代別行動履歴検証

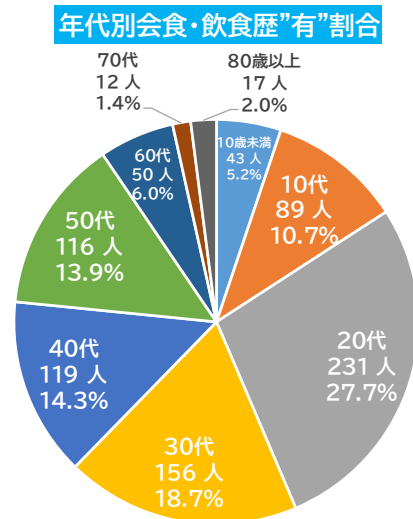
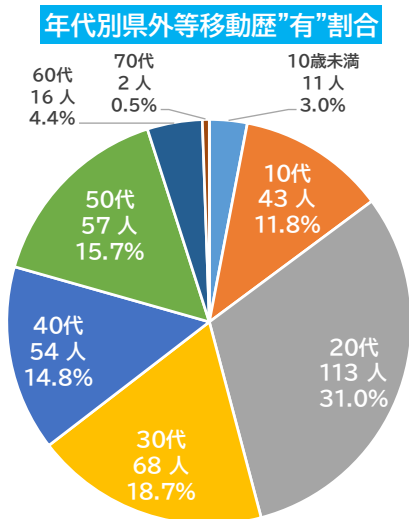
### (全体)

- ・ 7～9月の感染者数（クラスター事例を除く。）2,776人のうち、県外等移動歴があった者は364人（13.1%）、会食・飲食の履歴があった者が833人（30.0%）であった。うち、161人（5.8%）は県外移動歴及び会食・飲食歴がある者であった。
- ・ 県外等移動歴があった者のうち、最も多い年代は20代113人（31.0%）で、次いで30代68人（18.7%）、50代57人（15.7%）、40代54人（14.8%）の順。80歳以上は県外等移動歴がなかった。
- ・ 会食・飲食の履歴があった者のうち、最も多い年代は20代231人（27.7%）で、次いで30代156人（18.7%）、40代119人（14.3%）、50代116人（13.9%）の順。



### ● 県外等移動歴・会食等歴

県外等移動歴	会食等			総計	
	有	無	不明		
有	161	191	12	364	13.1%
無	547	1,181	220	1,948	70.2%
不明	125	245	94	464	16.7%
総計	833	1,617	326	2,776	100.0%
	30.0%	58.2%	11.7%	100.0%	



● 県外移動歴(年代別)

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総計
有	11	43	113	68	54	57	16	2		364
無	179	208	425	328	310	264	124	53	57	1,948
不明	41	50	88	84	88	63	29	7	14	464
総計	231	301	626	480	452	384	169	62	71	2,776
有の割合	3.0%	11.8%	31.0%	18.7%	14.8%	15.7%	4.4%	0.5%	0.0%	100.0%

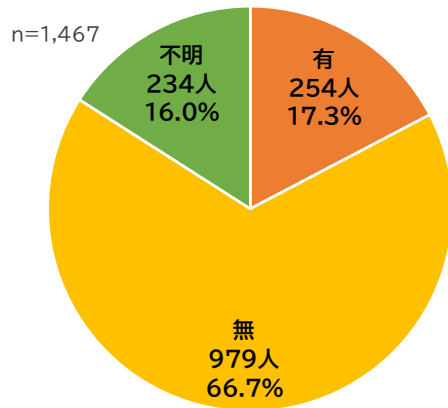
● 会食・飲食歴(年代別)

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総計
有	43	89	231	156	119	116	50	12	17	833
無	156	166	320	275	281	231	96	42	50	1,617
不明	32	46	75	49	52	37	23	8	4	326
総計	231	301	626	480	452	384	169	62	71	2,776
有の割合	5.2%	10.7%	27.7%	18.7%	14.3%	13.9%	6.0%	1.4%	2.0%	100.0%

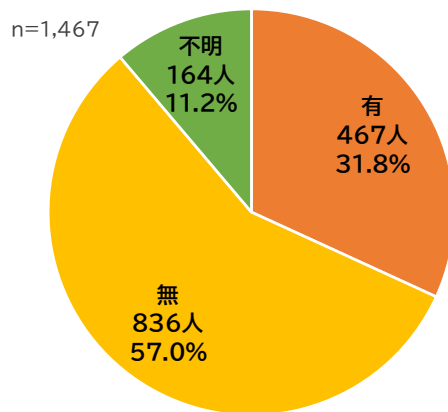
(行動歴「有」について)

- ・ 7～9月の感染者数(クラスター事例を除く)2,776人のうち、初発例(孤発・集団の初発)は1,467人、集団(接触者等)は1,309人であった。
- ・ 初発例1,467人のうち県外等移動歴があったのは254人(17.3%)。このことは、感染経路不明(初発例)のうち、リスク行動とされている県外等移動歴(またはその後の行動)が、一定程度感染経路になっている可能性を示唆している。  
初発例1,467人のうち会食・飲食歴があったのは467人(31.8%)。このことは、感染経路不明(初発例)のうち、リスク行動とされている会食・飲食歴が、一定程度感染経路になっている可能性を示唆している。
- ・ 集団(接触者等)1,309人のうち会食・飲食歴があったのは366人(28.0%)。このことは、リスク行動とされている会食・飲食を介して、一定程度感染が広がった可能性を示唆している。
- ・ これら県外等移動歴、会食・飲食といった行動歴が必ず感染することに結び付くわけではないが、感染者数が多い20～50代において当該行動歴の割合も高いことから、これらの行動を含めた多様な行動の中で感染の機会があったものと推定される。

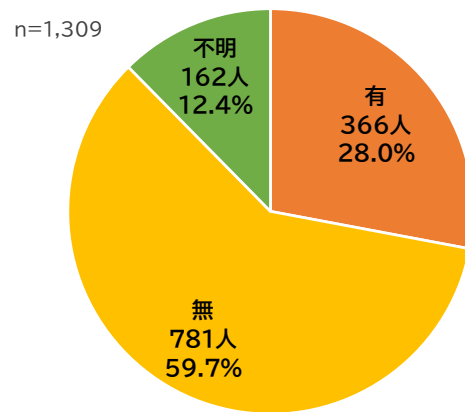
初発例の県外等移動歴



初発例の会食・飲食歴



集団(接触者等)の会食・飲食歴



● 県外等移動歴(初発・集団別)

	初発例			集団(接触者等)	合計
	孤発	集団初発	初発例計		
有	182	72	254	110	364
無	609	370	979	969	1,948
不明	156	78	234	230	464
総計	947	520	1,467	1,309	2,776
有の割合	(19.2%)	(13.8%)	17.3%	8.4%	13.1%

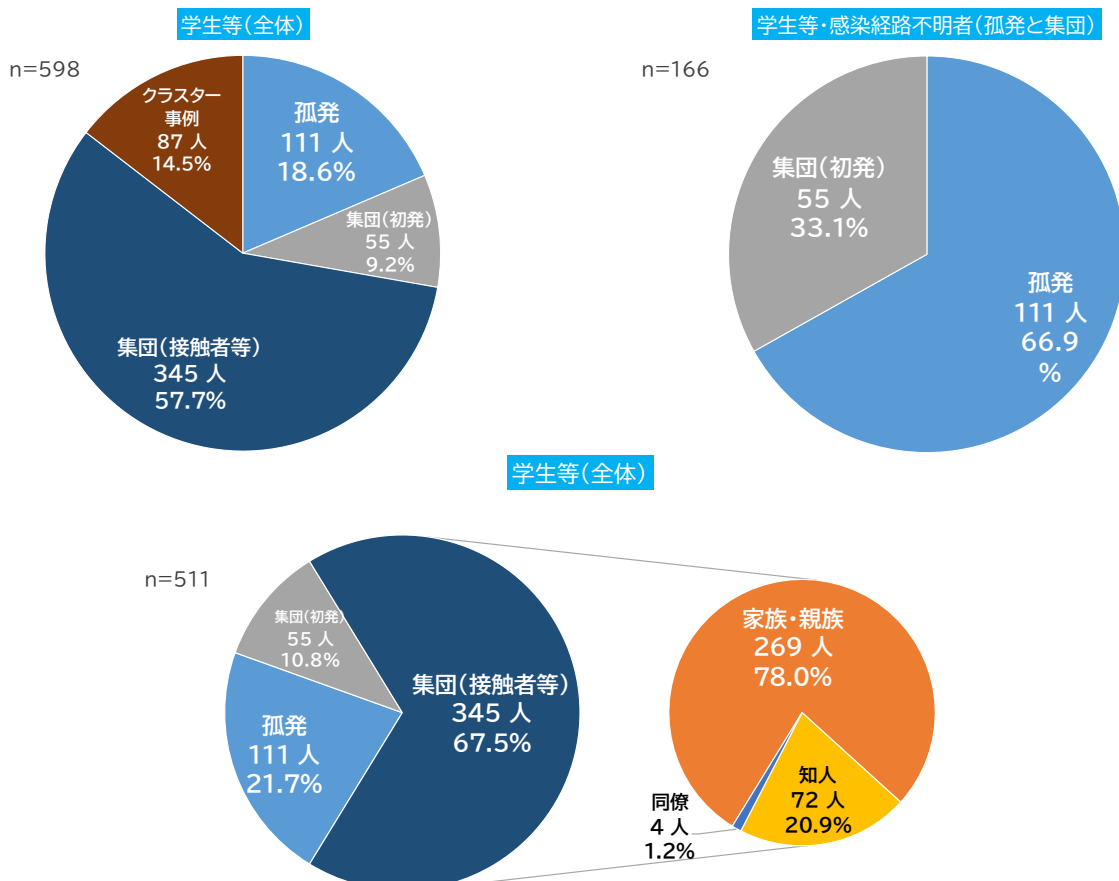
● 会食・飲食歴(初発・集団別)

	初発例			集団(接触者等)	合計
	孤発	集団初発	初発例計		
有	283	184	467	366	833
無	552	284	836	781	1,617
不明	112	52	164	162	326
総計	947	520	1,467	1,309	2,776
有の割合	(29.9%)	(35.4%)	31.8%	28.0%	30.0%

### ③ 学生等(幼保、小中高、大学、専門学校等)別の孤発・集団事例検証

#### (全体)

- ・ 7～9月の学生等の感染者数 598 人のうち、孤発例 111 人 (18.6%)、集団事例 400 人 (66.9%)、クラスター事例 87 人 (14.5%)。
- ・ 感染経路不明者(クラスター事例を除く。)は 166 人 (32.5%)。そのうち孤発例は 111 人 (66.9%)、集団事例の初発となったのは 55 人 (33.1%) であった。
- ・ 初発事例を除く集団事例(人)の感染経路を見ると、家族・親族 269 人 (78.0%)、知人 72 人 (20.9%)、同僚 4 人 (1.2%) であった。
- ・ 学生等全体として、感染経路は家族・親族が最も多く全体の約 8 割を占めており、学校等の教育等現場で感染が広がったというよりも、親世代が感染し家庭内で感染が拡大したと考えられる。
- ・ 保育園児・幼稚園児等、小学生、中学生は、孤発・集団の初発となる割合は低く、感染経路の大多数は家庭で、家族・親族(親等)からの感染である。中学生は感染者が最も少なかった。
- ・ 高校生は、主たる感染経路は家族・親族(親等)であるが、孤発・集団の初発となる割合も中学生までと比較して高い。中学生までと比較し、行動範囲、交流範囲が広がり、その行動により感染する場合も多いと考えられる。
- ・ 大学生・専門学校生等は、感染経路不明の割合及び集団初発となる割合が高校生以下と比較し特に高く、主な感染経路は知人であり他と比較し特徴的。行動範囲、交流範囲等が格段に広がり、また親元を離れて生活をする場合も多く、その広範・多様な行動により感染する場合も多く、また、他の人に感染させている場合も多いと考えられる。



●孤発・集団(全体)

孤発	通常事例			通常事例計	クラスター事例	総計
	集団					
	初発	接触者等	集団計			
111	55	345	400	511	87	598
18.6%	9.2%	57.7%	66.9%	(85.5%)	14.5%	100.0%

●孤発・集団(全体・関係性別)

孤発	集団初発	感染経路不明		感染経路判明			合計		
		不明計	集団(接触者等)			判明計			
			家族・親族	知人	同僚				
111	55	166	269	72	4	345	511		
(66.9%)	(33.1%)	(100.0%)	(78.0%)	(20.9%)	(1.2%)	(100.0%)	32.5%	67.5%	100.0%

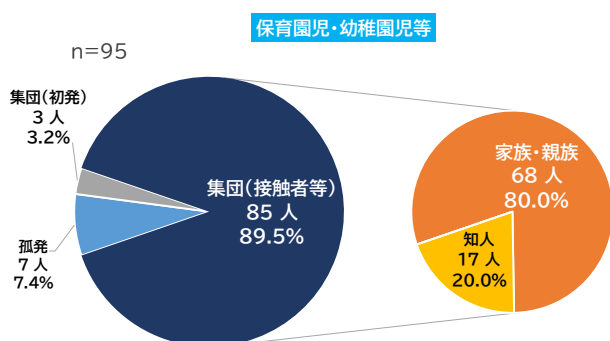
●学校区分別

保育園・幼稚園児等	小学生	中学生	高校生	大学生	専門学校生等	合計
95	134	58	89	111	24	511
18.6%	26.2%	11.4%	17.4%	21.7%	4.7%	100.0%

※以下の学校等別の感染者はクラスター事例を除く。

(保育園児・幼稚園児等)

- ・感染者 95 人のうち、感染経路不明者は 10 人 (10.5%)。そのうち孤発例は 7 人 (70.0%)、集団事例の初発となった者が 3 人 (30.0%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、家族・親族 68 人 (80.0%) が大多数で、知人 17 人 (20.0%) であった。
- ・保育園児・幼稚園児等の大多数の感染経路は家庭で、家族・親族 (親等) からの感染である。



●孤発・集団(学校等区分別・関係性別)

保育園・幼稚園児等									
孤発	集団初発	感染経路不明		感染経路判明			合計		
		不明計	集団(接触者等)			判明計			
			家族・親族	知人	同僚				
7	3	10	68	17		85	95		
(70.0%)	(30.0%)	(100.0%)	(80.0%)	(20.0%)	(0.0%)	(100.0%)	10.5%	89.5%	100.0%

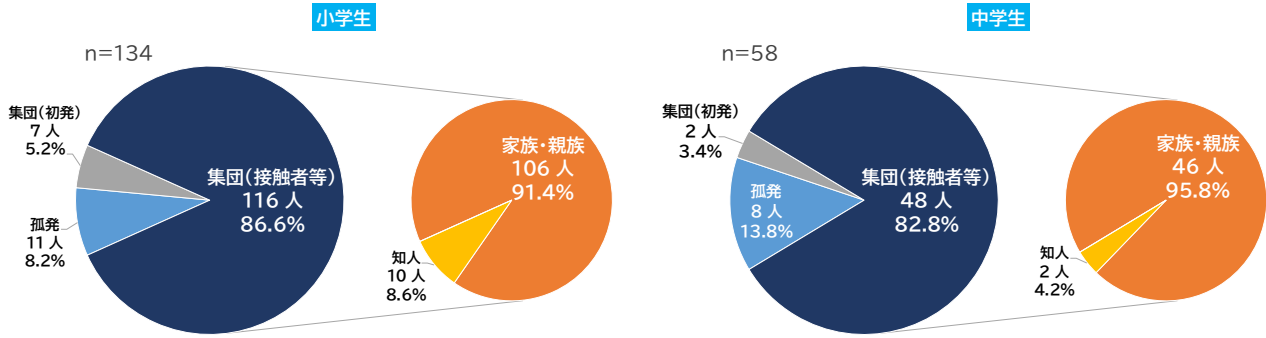
(小学生)

- ・感染者 134 人のうち、感染経路不明者は 18 人 (13.4%) であった。そのうち孤発例は 11 人 (61.1%)、集団事例の初発となった者が 7 人 (38.9%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、家族・親族 106 人 (91.4%) が大多数で、知人 10 人 (8.6%) であった。
- ・小学生の大多数の感染経路は家庭で、家族・親族 (親等) からの感染である。

(中学生)

- ・感染者 58 人のうち、感染経路不明者は 10 人 (17.2%) であった。そのうち孤発例は 8 人 (80.0%)、集団事例の初発となった者が 2 人 (20.0%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、家族・親族 46 人 (95.8%) が大多数で、知人 2 人 (4.2%) であった。
- ・中学生の大多数の感染経路は家庭で、家族・親族 (親等) からの感染である。また、中

学生は感染者数が学生等の中で最も少なかった（学生等全体の11.4%）。

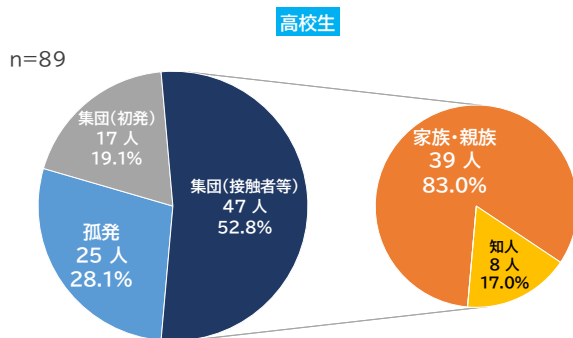


●孤発・集団(学校等区分別・関係性別)

小学生							中学生								
感染経路不明			感染経路判明				合計	感染経路不明			感染経路判明				合計
孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)			判明計		孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)			判明計	
			家族・親族	知人	同僚					家族・親族	知人	同僚			
11	7	18	106	10		116	134	8	2	10	46	2		48	58
13.4%			86.6%				100.0%	17.2%			82.8%				100.0%
(61.1%)	(38.9%)	(100.0%)	(91.4%)	(8.6%)	(0.0%)	(100.0%)		(80.0%)	(20.0%)	(100.0%)	(95.8%)	(4.2%)	(0.0%)	(100.0%)	

(高校生)

- 感染者 89 人のうち、感染経路不明者は 42 人 (47.2%)。そのうち孤発例は 25 人 (59.5%)、集団事例の初発となった者が 17 人 (40.5%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、家族・親族 39 人 (83.0%) が多く、知人 8 人 (17.0%) であった。
- 高校生は、感染経路不明の割合及び集団初発となる割合が中学生以下と比較して高く、主な感染経路は家族・親族 (親等) であるものの集団の初発となる割合も比較的高い。中学生までと比較し、行動範囲、交流範囲が広がり、その行動により感染する場合も多いと考えられる。



●孤発・集団(学校等区分別・関係性別)

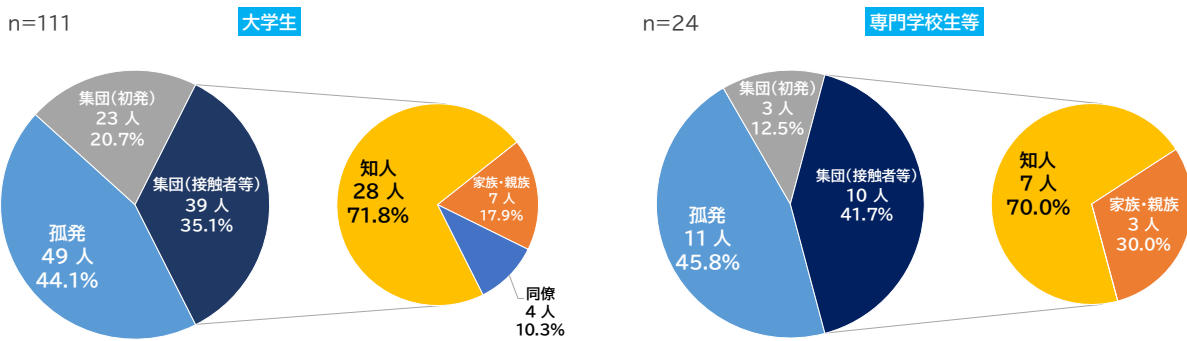
高校生							
感染経路不明			感染経路判明				合計
孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)			判明計	
			家族・親族	知人	同僚		
25	17	42	39	8		47	89
47.2%			52.8%				100.0%
(59.5%)	(40.5%)	(100.0%)	(83.0%)	(17.0%)	(0.0%)	(100.0%)	

## (大学生)

- ・ 感染者 111 人のうち、感染経路不明者は 72 人 (64.9%)。そのうち孤発例は 49 人 (68.1%)、集団事例の初発となった者が 23 人 (31.9%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、知人 28 人 (71.8%) が最も多く、家族・親族 7 人 (17.9%)、同僚 4 人 (10.3%) であった。
- ・ 大学生は、感染経路不明の割合が高校生以下と比較し特に高く、主な感染経路は知人であり他と比較し特徴的。行動範囲、交流範囲等が格段に広がり、また親元を離れて生活をする場合も多く、その広範・多様な行動により感染する場合も多く、また、他の人に感染させている場合も多いと考えられる。

## (専門学校生等)

- ・ 感染者 24 人のうち、感染経路不明者は 14 人 (58.3%)。そのうち孤発例 11 人 (78.6%)、集団事例の初発となったものが 3 人 (21.4%) であった。初発事例を除く集団事例 (人) の感染経路を見ると、知人 7 人 (70.0%) が最も多く、家族・親族 3 人 (30.0%) であった。
- ・ 感染事例数は少ないものの各分類が占める割合は大学生とほぼ同じ傾向。

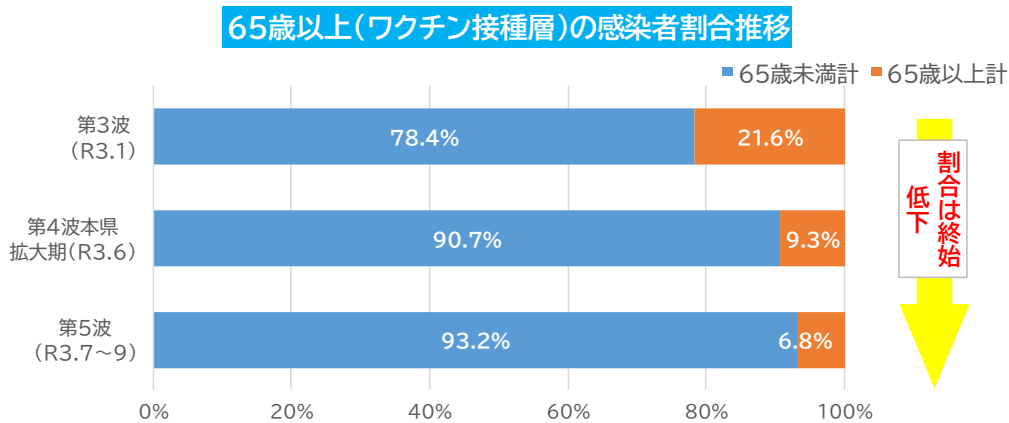


### ●孤発・集団(学校等区分別・関係性別)

大学生								専門学校生等									
感染経路不明			感染経路判明					合計	感染経路不明			感染経路判明					合計
孤発	集団初発	不明計	集団(接触者等)			判明計	孤発		集団初発	不明計	集団(接触者等)			判明計			
			家族・親族	知人	同僚						家族・親族	知人	同僚				
49	23	72	7	28	4	39	111	11	3	14	3	7		10	24		
64.9%			35.1%					100.0%	58.3%			41.7%					100.0%
(68.1%)	(31.9%)	(100.0%)	(17.9%)	(71.8%)	(10.3%)	(100.0%)		(78.6%)	(21.4%)	(100.0%)	(30.0%)	(70.0%)	(0.0%)	(100.0%)			

#### ④ 高齢者(65歳以上)の事例検証

- ・ 7～9月の感染者数3,013人のうち、65歳以上の割合は6.8%(206人)。これは、これまでの全感染者数5,114人に対する割合11.1%(567人)より低く、第3波(R3.1)の感染者数333人に対する割合21.6%(72人)、第4波本県拡大期(R3.6)の感染者数551人に対する割合9.3%(51人)より顕著に、また、終始低下しており、ワクチン接種の効果により感染者数の増加が抑えられていると考えられる。
- ・ また、添付の「ワクチンの有効性の試算について」のとおり、65歳以上のワクチン非接種群の感染率は0.398%、ワクチン2回接種群の感染率は0.046%であり、ワクチン接種により感染者が約11.6%に減少していると推定される。この値を基に試算されるワクチン有効率は88.4%(ワクチン接種により100人のうち88人は感染しなくなるという数値)であり、デルタ株への置き換わりによる効果減少があっても、依然90%近くあることが確認された。



#### ●高齢者(65歳以上)割合

		65歳未満	65歳以上	総計
総数	感染者数	4,547	567	5,114
	割合	88.9%	11.1%	100.0%
R3.1(第3波)	感染者数	261	72	333
	割合	78.4%	21.6%	100.0%
R3.6(第4波本県拡大期)	感染者数	500	51	551
	割合	90.7%	9.3%	100.0%
7月	感染者数	289	24	313
8月	感染者数	1,939	139	2,078
9月	感染者数	579	43	622
7-9月計	感染者数	2,807	206	3,013
	割合	93.2%	6.8%	100.0%
うちワクチン2回接種者		113	107	220
7-9月計に対する割合		4.0%	51.9%	7.3%



# ワクチンの有効性の試算について

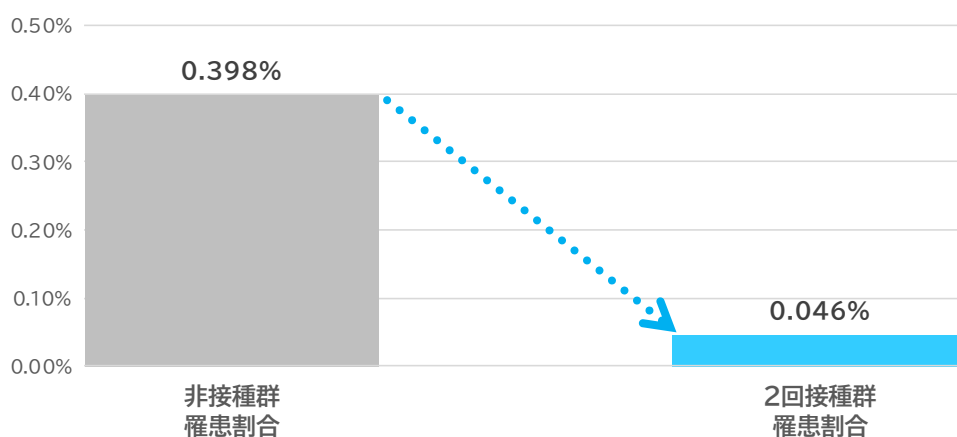
(65歳以上のワクチン接種群・非接種群の感染率比較)

9月末時点で世代の9割以上がワクチン接種している65歳以上を対象に、7～9月の県内陽性者における接種者、非接種者の感染率を比較

## 県内感染発生状況(7/1～9/30, 65歳以上)

区分	新規陽性者数	世代人口(65歳以上)	感染率(65歳以上)	
ワクチン 非接種者	72人	18,077人	非接種群 罹患割合	0.398%
ワクチン 2回接種済	107人	230,762人	2回接種群 罹患割合	0.046%

約11.6%



- ◆ 感染率を比較すると、非接種者で約0.4%、2回接種者は約0.046%と、ワクチン接種により約11.6%に減少。
- ◆ この値を基にワクチンの有効率<sub>※</sub>を試算すると、約88.4%に。  
<sub>※</sub>ワクチン有効率 = 1 - (2回接種群罹患割合 / 非接種群罹患割合)
- ◆ ワクチン接種の効果は、従来株では約95%と言われていたところ、デルタ株への置き換わりによる効果減少があっても、依然90%近くあることが確認された。

## ⑤ クラスターの発生状況

- 7～9月のクラスター発生件数及び感染者数は20件237人で、内訳は施設関係3件42人、学校関係5件40人、職場関係4件41人、遊興施設4件28人、運動施設1件43人、その他3件43人。年代別では、10代が最も多く49人(20.7%)、20代38人(16.0%)、50代36人(15.2%)、10歳未満33人(13.9%)の順となっている。
- 学校関係(10歳未満・10代)が比較的多いが、教室などの主要施設における発生は保育所1件のみで、児童クラブ、預かり保育、寮、共通の活動の場といった特定の環境下で発生している。

### ● クラスター発生状況

#### ①利用者属性別

月	名称等	利用者	職員・従業員等	その他	合計
7	笛吹市内にある事業所(製造業)		12		12
	峡南地域の宗教施設	12			12
	甲府市内の共通の活動の場におけるクラスター			6	6
	知人間におけるクラスター	8			8
	遊興施設(接待又はカラオケを伴うバー・スナック)	6	1		7
	甲府市内の個人宅における複数の家族における会食			25	25
8	峡東地域の児童クラブ	9	1		10
	富士・東部地域にある遊興施設	2	4		6
	富士・東部地域にある遊興施設	2	5		7
	同一の事業場(製造業)の従業員		18		18
	甲府市内の預かり保育の施設	5			5
	峡東地域にある遊興施設	5	3		8
	複数の家族による会食			10	10
	甲府市内にある介護施設	17	6		23
	韮崎市内にある介護施設	3	4		7
	富士・東部地域にある保育所	2	6		8
	甲府市内にある高等学校の寮の入寮生	11			11
9	同一事業所(富士・東部地域にある公共機関)		2		2
	南アルプス市内の製造業		9		9
	中北地域の屋内運動施設関係	39	4		43
集計		121	75	41	237

#### <分類>

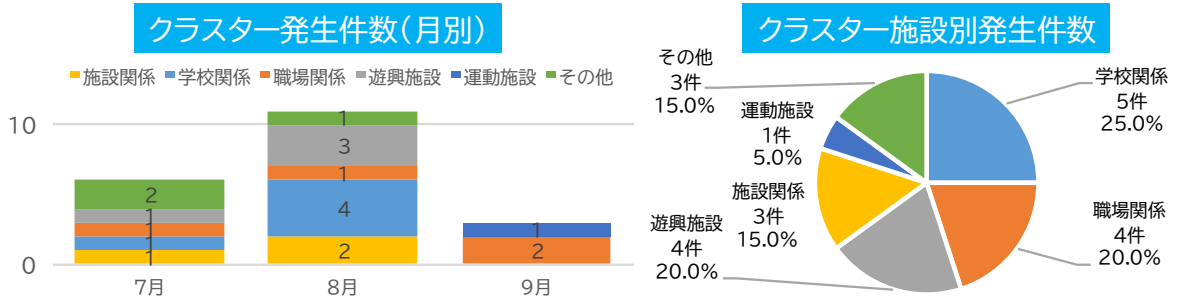
施設関係	学校関係	職場関係	遊興施設	運動施設	その他
		○			
○					
	○				
					○
			○		
					○
	○				
○					
	○				
					○
		○			
		○			
				○	

合計  
:人 3 5 4 4 1 3 20  
42 40 41 28 43 43 237

#### ②年代別

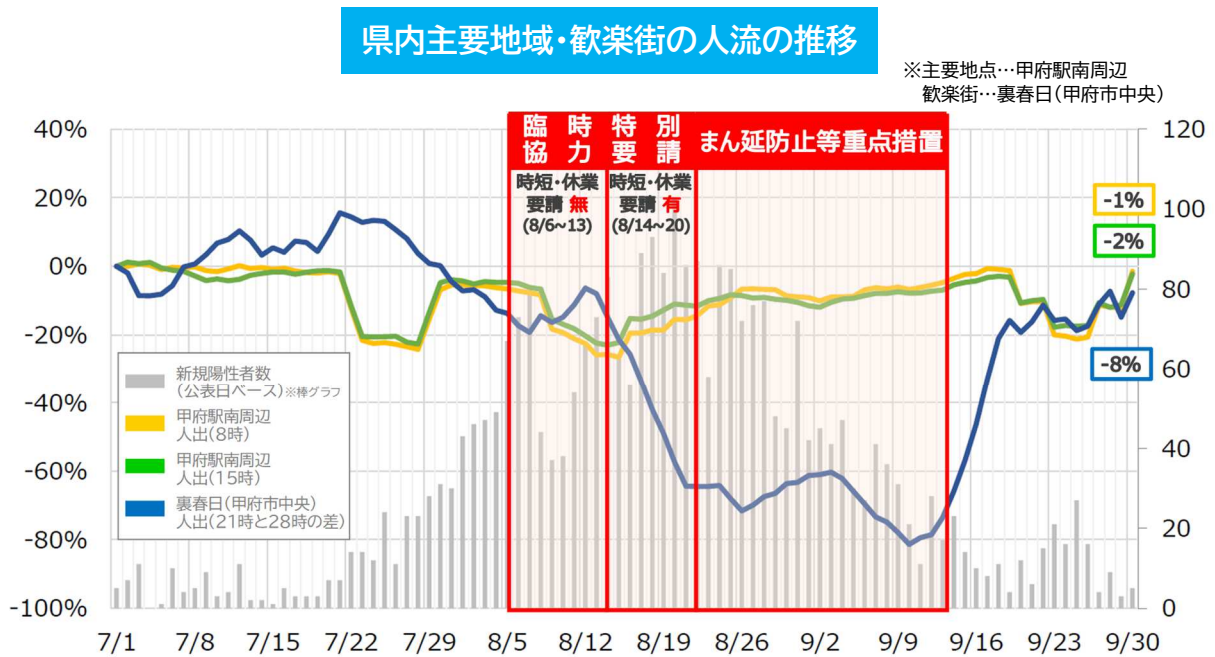
月	クラスター公表名(施設名)	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総計
7	笛吹市内にある事業所(製造業)			3	5	3			1		12
	峡南地域の宗教施設			7	2		2	1			12
	甲府市内の共通の活動の場におけるクラスター		4	2							6
	知人間におけるクラスター					2	3	3			8
	遊興施設(接待又はカラオケを伴うバー・スナック)			2	1		4				7
	甲府市内の個人宅における複数の家族における会食		7	1	1	7	9				25
8	峡東地域の児童クラブ	6	3				1				10
	富士・東部地域にある遊興施設			3	1	1			1		6
	富士・東部地域にある遊興施設			4	1		2				7
	同一の事業場(製造業)の従業員			4	3	3	6	2			18
	甲府市内の預かり保育の施設	5									5
	峡東地域にある遊興施設			3		2	3				8
	複数の家族による会食	4			4	2					10
	甲府市内にある介護施設			3		2		1	3	14	23
	韮崎市内にある介護施設				2	1	1			3	7
	富士・東部地域にある保育所	2		3	1		2				8
	甲府市内にある高等学校の寮の入寮生		11								11
9	同一事業所(富士・東部地域にある公共機関)		2								2
	南アルプス市内の製造業			3	2	2	2				9
	中北地域の屋内運動施設関係	16	22		1	1	1	1	1		43
集計	33	49	38	24	26	36	8	6	17	237	

13.9% 20.7% 16.0% 10.1% 11.0% 15.2% 3.4% 2.5% 7.2% 100.0%



## ⑥ 対策の効果検証

- ・ 内閣官房提供情報に本県のまん延防止等重点措置など対策期間を重ね、県内2地点（県内主要地点・歓楽街）の7月1日時点との人流を比較した。
- ・ 歓楽街の人出は、臨時特別協力要請期間中（8/6～8/20）減少し、まん延防止等重点措置期間中（8/20～9/12）は顕著な減少が見られ最大80%程度の減少が見られた。
- ・ このことからまん延防止等重点措置はもとより本県独自の臨時特別協力要請においても、人流の抑制に大きな効果があったと言える。



内閣官房提供データを基に加工  
 モバイル空間統計®データ提供元:(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング  
 ※「モバイル空間統計®」は株式会社 NTTドコモの登録商標です。

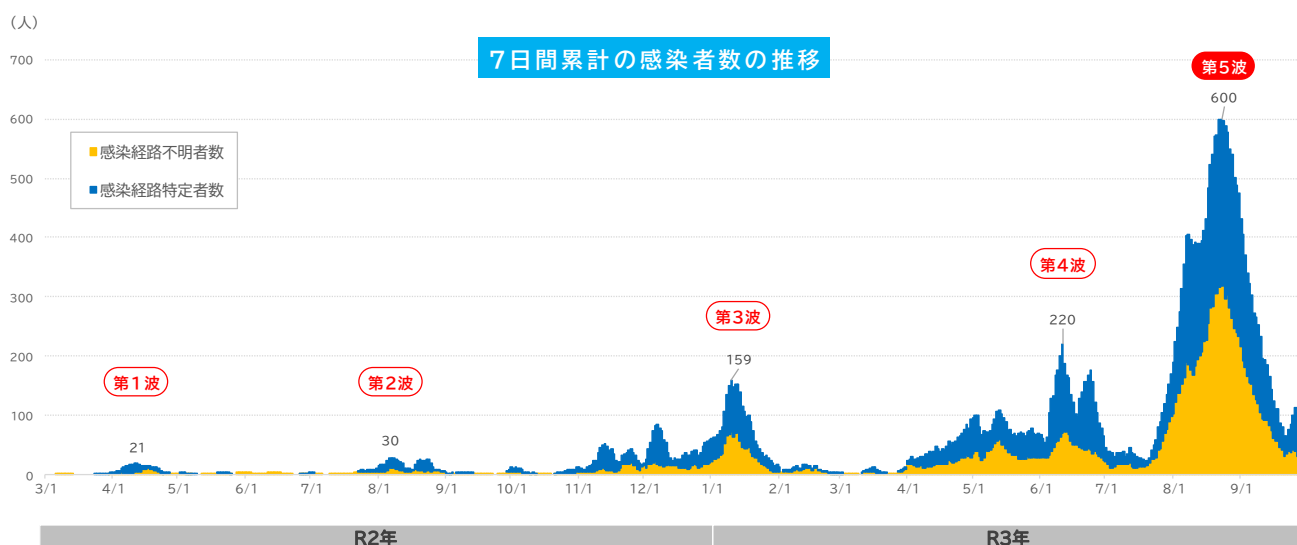
## 5 総括・今後の感染拡大に向けて(県 CDC 藤井総長)

### ● 第5波の総括

- ・ 第5波は、これまでで最大の波となり、1日当たり感染者数(103人)と入院・療養者数(715人)がともに過去最多となった。
- ・ 感染者が短期間に急増したため、入院・療養者も急増し、病床等使用率は一時、80%を超える状況になった。
- ・ 約2か月間の第5波で発生した感染者数は、昨年3月の県内初感染者確認から9月末までの19か月間の総感染者数の約6割を占めていることから、その感染拡大の大きさは明らかである。

#### (要因分析)

- ・ 働く世代の夏季休暇、子供の夏休み、帰省など、通常とは異なる人の動きが増えたことにより感染の機会が増加した。
- ・ 加えて、感染力の強いデルタ株に置き換わったことにより若年層にも感染が広がった。
- ・ ワクチン接種が進んだことにより、高齢者の感染は抑えられた。
- ・ ワクチン接種済みの高齢者の感染発生が少ないことから、ワクチン接種は感染予防に一定の効果があることが確認された。
- ・ 感染が拡大するにつれ、感染経路不明の感染が拡がり、県内各地域での感染に繋がった。
- ・ これらの要因が相乗的に影響し、かつてない感染規模になったと考えられる。
- ・ なお、ワクチンの効果もあるだろうが、第5波が急速に収束した要因は明確ではない。



## ● 今後の感染拡大に向けて

- ・ 感染者が増減する時期など、昨年とほぼ同様のパターンで推移しており、11月後半には感染者が再び増える可能性がある。
- ・ 感染の波が毎回大きくなってきているため、次に来る第6波は第5波より感染拡大が起こる可能性がある。



### (今後に向けて)

- ・ 感染者が第5波以上に増えても対応できる医療提供体制、宿泊療養体制の増強を図り、必要な人が適切に治療療養できる体制の確立を図る必要がある。
- ・ 感染拡大を抑えるため、県民の皆様にはできるだけワクチンを接種してもらいたい。
- ・ また、ワクチン接種後も、引き続き、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いといった基本的な感染対策を継続してもらいたい。
- ・ 冬期は暖房使用により換気がおろそかになる可能性があるため、定期的な換気には特に留意してもらいたい。